

(第2号様式)

沖高特第 1485号  
令和8年3月6日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立沖縄高等特別支援学校  
校長 浦崎 達夫  
(公印省略)

令和7年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和7年12月5日付け教県第1750号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和7年6月6日 13:30~14:30	場所	沖縄高等特別支援学校 会議室	出席 状況	4名/5名中
第2回	日時	令和7年12月13日 12:15~13:15	場所	沖縄高等特別支援学校 会議室	出席 状況	3名/5名中
第3回	日時	令和8年2月19日 11:10~12:10	場所	沖縄高等特別支援学校 会議室	出席 状況	3名/5名中

2 学校評議員に求めた事項

第1回:①学部・寄宿舎の取り組みについて ②寄宿舎の居住環境について  
第2回:①学部・寄宿舎の取り組みについて ②寄宿舎定員の改定について  
第3回:①学部・寄宿舎の取り組みについて ②学校評価の結果について

3 学校評議員の意見

○福祉コースの充実を継続して図ってください。  
○進路等については、バスが必要だと思います。県では厳しいのでクラウドファンディングを利用してみては？バスがあれば見学や職場体験だけでなく、いろいろな他の地域で活動の展開ができると思います。  
○指導の重点の中に「道德教育」「性教育」を文言に取り入れて踏み込んで行っていることに感銘を受けた。  
○一人になる時間(空間)が必要なのではないか。  
○スマホの使い方を指導してほしい。健常者でもスマホを勤務中に使用して解雇されている状況。  
○他の学校では美容師になりたいとのことで、専門学校に通うがついていけない現状がある。各学校にもよるが困ったときに相談する方がいないことがある。  
○学校評価の外部からの厳しい意見は期待の裏返しであり、保護者からの評価は良いため、今後も自信を持って取り組んでほしい。  
○生徒の成長は卒業後に見られる場合も多く、長期的視点で支援を続けてほしいとの意見。  
○福祉系福祉コースは今後の制度改善も追い風となるため、魅力化の取り組みを継続すべきとの助言があった。

4 学校運営に反映した事項

○就業体験に係る企業との協定書の締結  
○福祉コース教室の改修及び物品の購入  
○寄宿舎の風呂場へのカーテン設置やプライベート空間確保のための2段ベッドの要望  
○寄宿舎の居住環境改善を目指した寄宿舎定員の改定  
○スマホの使い方について講演等をしている。子供達に理解するよう引き続き工夫していきたい。

5 課題その他

○生徒の実態(主に発達障害)に応じた生徒支援方法に関する検討及び実践・検証  
○寄宿舎居住環境の改善(寄宿舎定員再改定の検討含む)  
○施設設備の改修・購入等に向けた予算の確保  
○地域資源を活かした教育活動の充実(「コミュニティスクール」導入に向けた検討及び環境整備)  
○福祉コースの志願倍率の改善